

旬刊 速報税理

日本税理士会連合会監修

税務の動向

- 役員給与規制の業務主宰役員等をQ&Aで／6
- 義務化された事業概況説明書の雛型が明らかに／8
- 特定事業用資産の買換特例の延長を要望／9
- 債務者に関する債務処理計画要件の緩和を要望／10
- いわゆる卒業答申に代え異例の会長談話を公表／11
- 銀行の保管証明に代わる払込証明書が必要／12
- 国税Flash／13

資料

都道府県税率一覧表／30

シリーズ対談

税理士の視点から読む会社法の実務の勘どころ No.10～機関設計(続)／16

●カラーグラビア●

- 旬を聞く 開かれた立法で納税者が納得する法人税制の現代化が必要だ／1
- 今旬のTAX ZOOM&FOCUS 税源移譲に伴う住宅ローン減税効果を19年度改正でも確保へ／2
- 今旬の数字 20.9億(円)エンジェル税制の投資実績(17年度)／4
- KeyWordから探る税理士業務 飲食交際費／45

●その他のCONTENTS●

- 判例ニュース 業務用土地の登免税の譲渡所得における取得費性／14
- 税理士事務所の使えるツール集 DESの活用／20
- 病医院の税務と実務 簡易課税制度における事業区分／22
- 検証!!藤山判決 訴訟指揮と和解金の一時所得認定事件／24
- 国際税務入門講座 税法の簡素化／28
- 霞が関ウォッチング 経済産業省／35
- 知っておきたい新しい起業法～LLP編 LLPの税務(構成員(個人)課税)／36
- 人事労務ガイド 労使交渉・実施までの進め方／38
- 業種・業態アーカイブス 下着販売店、ジーンズショップ、呉服店、注文服店、子供服店／40
- 節税ワンポイント・アドバイス 物納許可限度額と超過物納の規定の整備／42
- 税理士のための掲示板／44



「飲食費等明細書」を独自に
用意、不正の予防にも
役立てる



東京税理士会江戸川北支部 積田 善道 税理士

「会議に関連するもの以外の飲食費等について記入すること。1次会・2次会は分けて記入すること」——積田善道税理士が関与先のために独自に作成した「飲食費等明細書」（次頁写真）の冒頭にはこの二点が注書きされている。飲食交際費をめぐる実務上の留意点を挙げれば切りがないが、煎じ詰めればこの二つに絞れるということであろう。「とりあえず、明細を記入する上での注意点というつもりで書きました」という。

■ 事前に無駄を省く

ひとくちに飲食費といっても「会議に付随してお弁当やお茶を出すのであればその性質からして会議費になります」。飲食交際費か否かの判断をするまでもなく損金に算入できるというわけだ。飲食交際費に取り込めば結果は同じになるにしても「明細書への記入・保存などに手数がかかることになる」。会議費か否かの振り分けは、事前に無駄を省くための一つの工夫でもあるのだろう。

1次会や2次会ごとに判定することについては関与先から「本当にいいんですか」などと、うれしい悲鳴が聞かれたという。「そうかといって、

4軒も5軒も細切れに梯子をするようなことはないようですね」と苦笑する。併せてこの時、ゴルフ中の昼食や観劇などがメインの飲食は該当しないことなど、具体的なケースを挙げながら説明するという。

明細書の各欄は上から順に、日付、飲食費の合計、参加人数と記入することとされ、次の欄では一人当たりの飲食費が自動計算される仕組みとなっている。この金額が「5,000円以下の場合、交際費対象外」と欄外右横に印字されており、損金算入されるか否かがひと目でわかる。

例えば、A社とB社の社員がお互い3名ずつ計6人で会食した時に飲食費としてA社から2万円、B社からは1万円を出し合ったとしても、「飲食費の合計3万円を参加人数6人で割ると5,000円ちょうどとなる」。よってA社、B社ともにそれぞれが支出した金額を飲食交際費として処理できることになるわけだ。「お互いに出し合うケースは、まあ、少ないのでしょうかけれどね」とはいえ、こうしたケースをも想定し対応しうるようになっていく点には、さりげなくも深い配慮が感じられる。

■参加者の氏名はすべて記入

つづく飲食店等の名称・住所欄の下に用意されているのがひときわ目を引く参加者の明細欄だ。氏名、会社名、当社との関係を順に書き込むようになってい

る。国税庁からのQ&Aによれば「他10名」などという簡略化した記載方法も認められるとのことだが、「すべて漏れなく書くようにしたいですね」という。「そのほうが信憑性が高い」ためだ。簡略記載ではつい魔がさして人数を水増ししてしまうとも限らない。参加者の氏名をすべて記入するように指導する背景には、不正の元をあらかじめ断ち切っておくという意味合いもありそうだ。

明細書を関与先に記入してもらうことで毎月の精算も滞りなく処理されているという。「経理全体への波及効果も見込めるのでは」と期待を寄せる。

The image shows a sample form titled "飲食費明細書" (Food Expense Statement). The form is divided into several sections. At the top, there are fields for "飲食店等の名称" (Name of restaurant/etc.), "住所" (Address), "日付" (Date), and "数量" (Quantity). Below these are fields for "参加者氏名" (Participant Name), "会社名" (Company Name), and "関係" (Relationship). The main body of the form is a table with columns for "参加者氏名" (Participant Name), "会社名" (Company Name), and "関係" (Relationship). The table is filled with handwritten entries. At the bottom, there are fields for "合計" (Total) and "備考" (Remarks).